

# コムスご説明資料

1. コムスとは
2. コムス販売状況と活用事例
3. ミニカーに関する課題

2021.1.29  
トヨタ車体株式会社

# 1. コムスとは 日本国内で市販されている数少ない超小型EV

1人乗り電気自動車

家庭用  
AC100V  
充電

満充電約6時間



満充電で  
街乗り  
50km走行可能

JCO8(類似) : 53~56km  
一定速走行40km/h: 85~90km

経済的  
1km走行  
= 約3円

ミニカー (道路交通法)

- ★最高速度60km/h
- ★最大積載量30kg
- ★1人乗り
- ★普通免許必要、ヘルメット不要

第1種原動機付自転車  
(道路運送車両法)

⇒ 車検・車庫証明不要  
全長2,500mm以下  
全幅1,300mm以下

【全長】2,395 【全幅】1,095 【全高】1,500

# コムの位置づけ

## 超小型モビリティ

道路 交通法 区分	身体障害者 用車いす	原動機付 自転車	ミニカー	普通自動車		
道路運送 車両法 区分	歩行補助 用具	第一種 原動機付自転車	軽自動車			
		2輪	4輪	超小型モビリティ (認定制度)	超小型モビリティ (型式指定)	
免許	不要	原付自転車免許	普通自動車免許			
定格出力		0.6kw以下	0.6kW~8kW	0.6kw超		
最高速度	6km/h (道交法)	30km/h (道交法)	60km/h (道交法)	個別の制限付与	60km/h (構造上)	構造上の 制限なし
高速道路	走行不可					走行可
定員	1人			1~2人		4人
サイズ	全長：1,200mm 全幅：700mm 全高：1,090mm	全長：2,500mm 全幅：1,300mm 全高：2,000mm		全長：3,400mm 全幅：1,480mm 全高：2,000mm	全長：2,500mm 全幅：1,300mm 全高：2,000mm	全長：3,400mm 全幅：1,480mm 全高：2,000mm
						

# コムのバリエーション

主に個人向

P・COM



主に法人向

B・COM デリバリー



B・COM デッキ

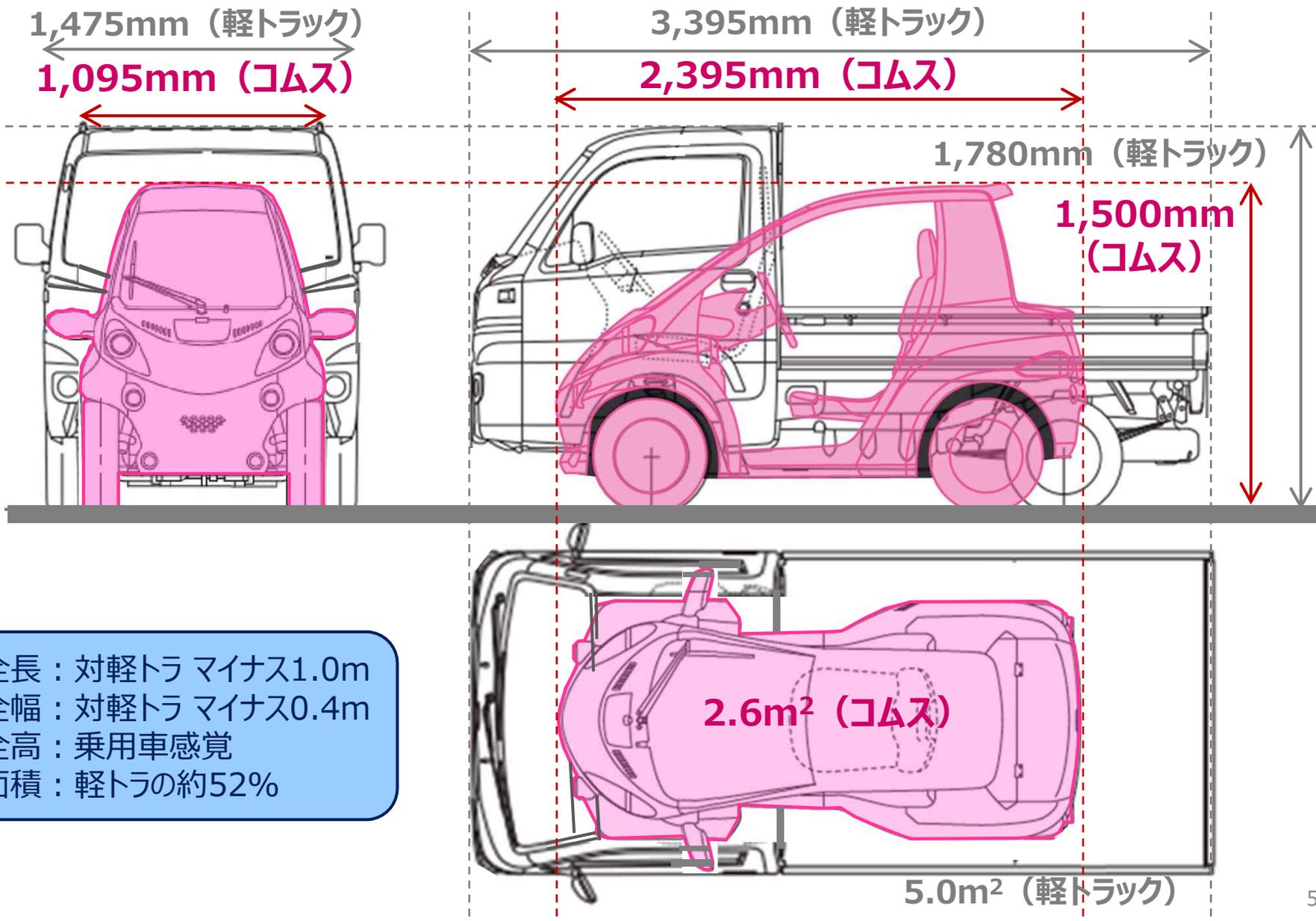


B・COM ベーシック



日常の足としての個人ユーザーと小口配送を中心とした法人ユーザーを考え、荷室形状の違いで4タイプのバリエーションを設定

## コムス×軽トラック サイズ比較



全長：対軽トラ マイナス1.0m  
 全幅：対軽トラ マイナス0.4m  
 全高：乗用車感覚  
 面積：軽トラの約52%

## ユーザー様における車両課題とコムスでの解決策

### (1) 安全性 (4輪の安定性)



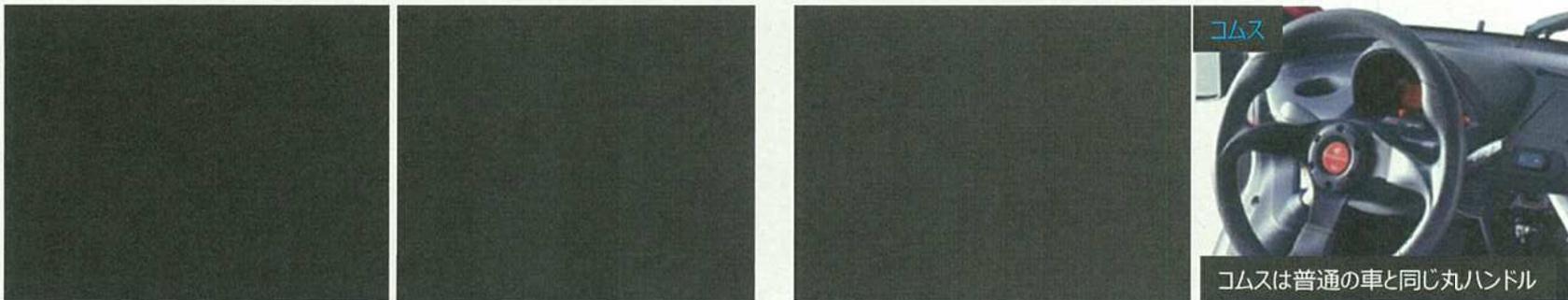
- ・4輪のコムスは安定性高く、安心した運転が可能
- ・坂道も4輪の安定性を活かし、登坂可能

### (2) 取り回し (コンパクトな車体による機動性)



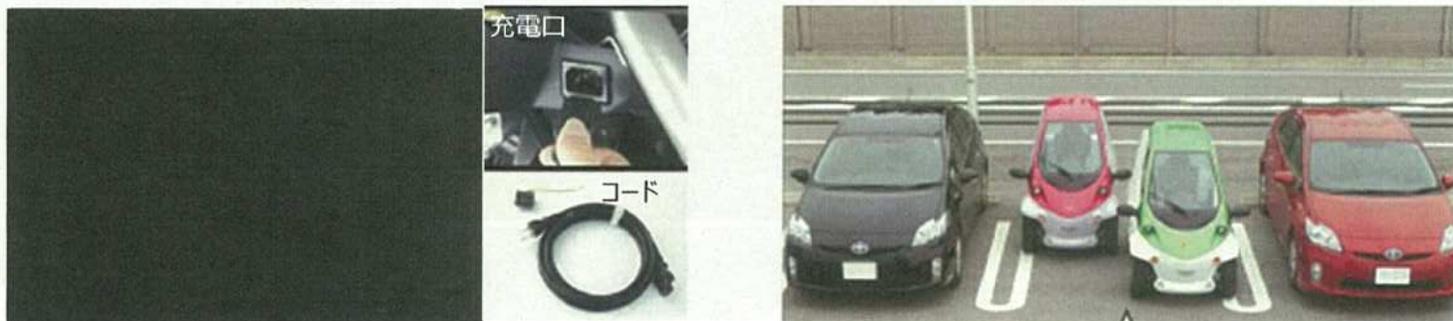
- ・普通車が通れない狭い道も走行可能
- ・配達先の軒先までアプローチでき、空きスペースにも駐車できるサイズ

### (3) 労働条件改善・ダイバーシティ (運転のしやすさ、快適性)



- ・2輪車はヘルメットが必要、雨天時はレインコートが必要
- ・コムスは運転に特殊な技術は必要なく、普通のクルマを運転する感覚でOK

### (4) 環境対応、低コスト (走行時CO<sub>2</sub>排出ゼロ、維持費の安さ)



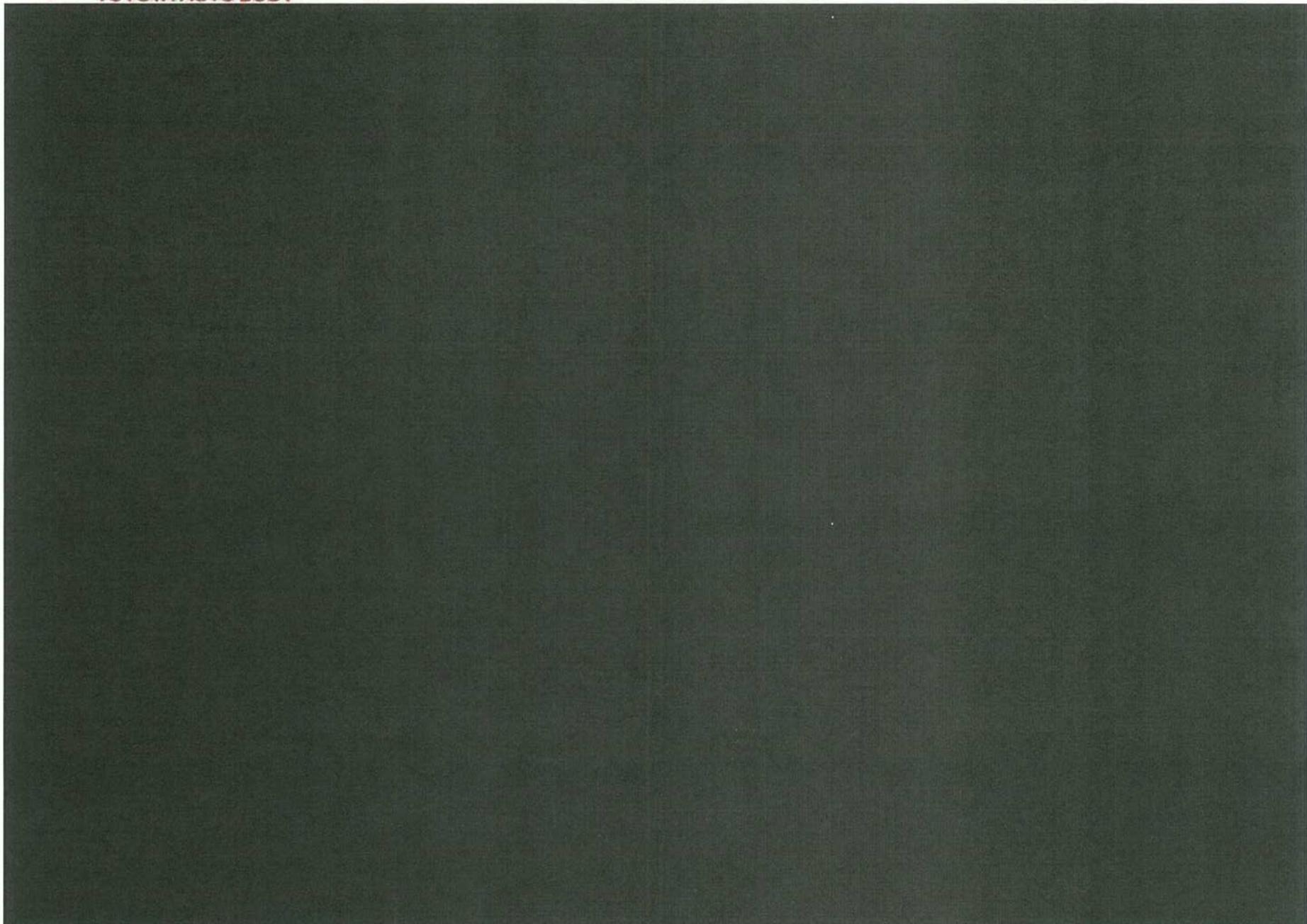
- ・走行時のCO<sub>2</sub>や大気汚染物質の排出ゼロ
- ・100V電源で充電可能 (満充電=約150円)
- ・省スペース (普通車用駐車スペースに2台駐車可能)

## 2. コムス販売実績

旧型：約2,200台

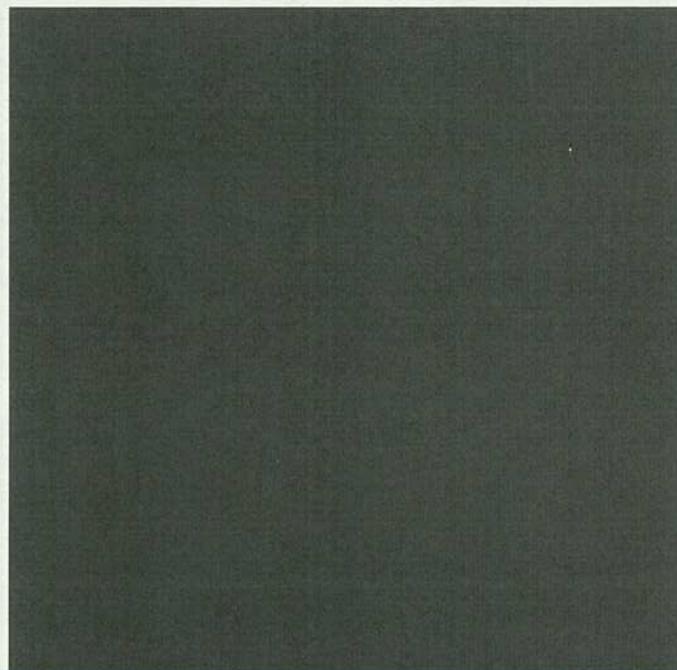
新型：約7,800台

◆旧型は10年間で約2,200台、新型は7年間で約7,800台の販売

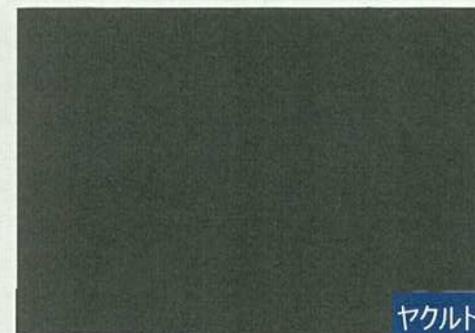


## 現行コムス販売先状況

### 法人ユーザー利用状況



小口宅配業(コンビニ、飲料・弁当配達)が最も多く、約半数を占める

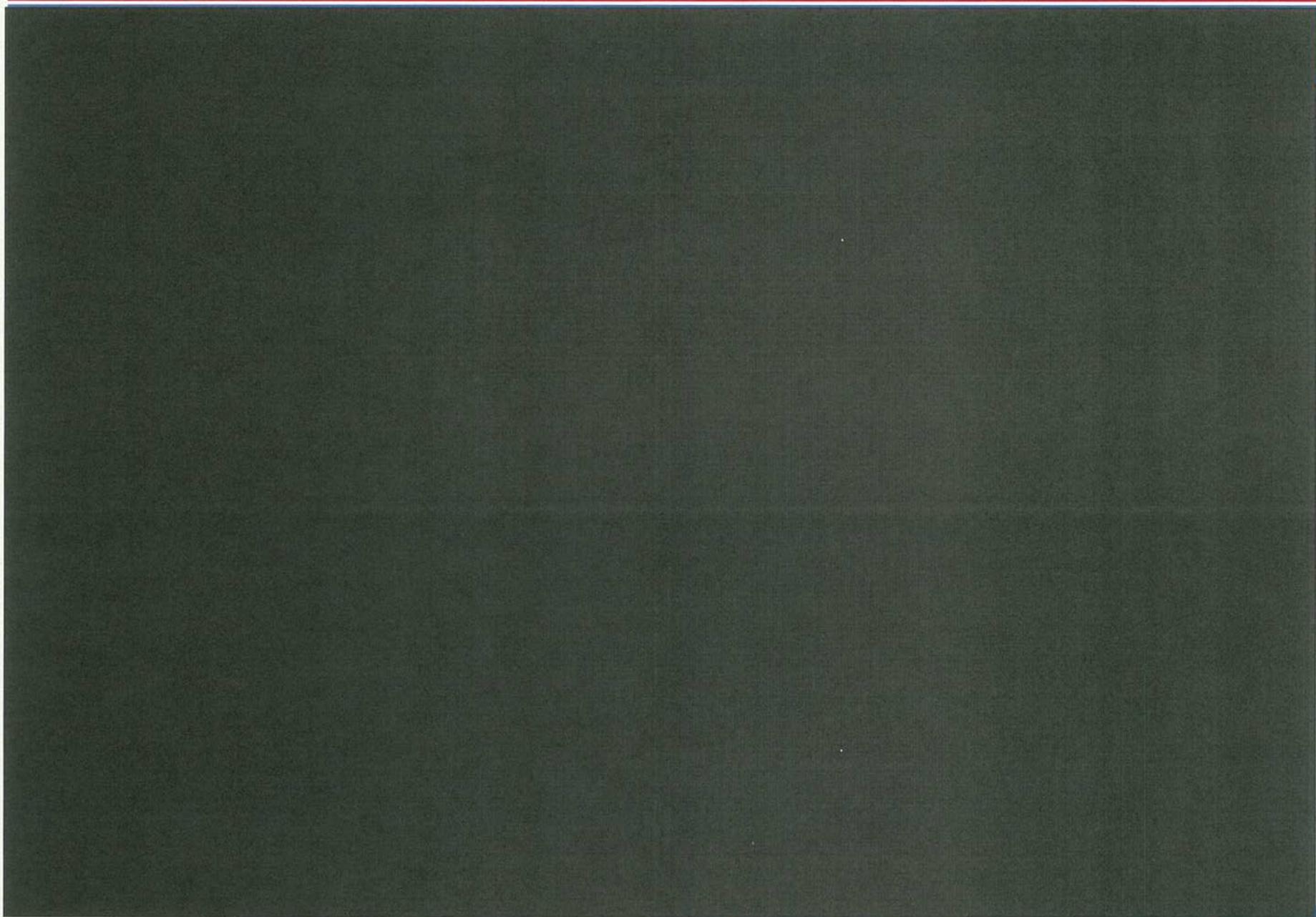


## 事例1：飲料配達（ヤクルト様）

### ヤクルトレディから好評価、各地で採用拡大中

- ・特別な教育なしで、普通のクルマ感覚で運転できる  
(4輪の安全性・安心感、コンパクトサイズで運転しやすい)
- ・配達先の軒先まで入る事ができ、駐車もラクラク
- ・ヘルメット不要(髪型乱れず)、全天候性(化粧も崩れず)
- ・お客様とのコミュニケーションも向上





## (2) 超小型モビリティ実証実験 (60kg積載モデル)

- ・2015年6月より運行開始
- ・最大積載重量30kg→60kg
- ・専用BOX搭載
- ・名古屋市4局に4台配備(走行可能エリアは名古屋市内)

超小型モビリティ認定制度にて60kg積載化

## (3) 車両

規制緩和マーク  
(車体前後) ▼



軽自動車ナンバー  
(車体前後 日本郵便は事業用ナンバー)

車両近接通報装置



発炎筒の装備

専用積載BOX  
(JP専用通箱 2個積載可)

バッテリー保護用  
パイプ



## 事例3：宅配車両としてのコムス

### 弁当・食品/コンビニ配達



セブンイレブン様  
全国で約\*\*\*\*台導入



宅配クック123様  
高齢者向け弁当配達



ガスト様  
テイクアウト食品配達

### ◆ユーザーの声

雇用事情により、宅配業界の車両への考え方に変化の兆し

→高校生バイトが集まらず、主婦・高齢者にシフト⇒安心・安全なコムスに注目



ピザ店使用例

13枚のピザを積載可能 サイドメニューも搭載可



## 事例4：女性行員の外回り（名古屋銀行）

女性営業が「パーソナルコンシェルジュ」として個別顧客訪問に活用



親切ね



パーソナル  
コンシェルジュ

名古屋銀行の「パーソナルコンシェルジュ（PC）」が、個人のお客さまの多様なニーズにお応えします。平成28年9月現在、愛知県内店舗に98名展開しています。

親身になって  
相談のってほしい



## 事例5：町おこし（ジオコムス 鳥取）

- ◆鳥取県の浦富海岸におけるコムスを用いた観光地周遊シェアリング
- ◆環境省「公共交通機関と連携した観光地2次3次交通の低炭素化推進事業」補助事業にて推進

(2018.4～ 運用)

・コムス10台  
海の生き物の  
ラッピング



### 事務局

鳥取県生活環境部

+

### 事業実施代表者

智頭石油

+

JTBコーポレートセールス

(旅行商品メニュー)

トヨタ車体

(デフギヤ改造等)

フォルテ

(観光ガイドシステム)



## 事例7：町おこし（鹿児島県薩摩川内市 甕島）

道が狭く、ガソリンが高い離島での活用事例  
公用車だけでなく、観光の足としても活躍中

- ・甕島(こしきしま)にて、公用車、島民や観光客の移動手段として活用



その他の“離島”での事例  
愛媛県上島町（上島）  
福岡県宗像市（大島） 等

### 3. ミニカーに関する課題

#### ミニカーの特徴

- ・最小限の車両サイズ/動力性能
  - ・環境性能の高さ
  - ・維持費用の安さ
- 近距離、中低速の1人移動に最適

但し、下記においては特徴を活かしきれていない（＝課題）と認識

#### （1）都市部での利用

特に都心部の配送業務時における駐車問題が原因  
…駐禁取り締まりの対象となるため使用が制限される

#### （2）高齢者の利用

行動範囲が比較的狭く、移動先も限定的な高齢者には  
相応な移動手段と思われるが、自動車と同じ免許が必要

## • 3-1 都市部での利用／都心部での駐車

メリット：駐停車スペースをあまり取らないので、路上や余地に停車しての作業が容易



ただし・・・、都心部では有料Pに停めてから、通箱を運搬して配達先まで配送



### 課題への対応

◆コンパクトな車体サイズを活かした駐車制度やインフラの整備

## 3-2 高齢者の利用

- ◆ 中山間地域の足、普通免許返納手前の高齢者の足としての期待大
- ◆ 「普通免許返納したけど、これなら乗れるかも」の声も多い

愛知県豊田市



### 愛知県豊田市足助町

足助町の高齢者サークルである「里モビLIFEプロジェクト」が、コムスをベースに改造を加え「高齢者が利用しやすい超小型EV」を製作。

### 岡山県美作市

過疎化・高齢化が進む中山間地域に居住する人々が移動の自由を享受する豊かな暮らしや地方創生の実現に向け、トヨタモビリティ基金が2.2億円を助成したプロジェクト。

### 課題への対応

- ◆ **高齢者が利用しやすいハード・ソフト両面の明確化と整備**  
(車両性能、道路の使い方、免許制度…等)

以上